

教育センターだより

1月



427号 令和8年1月 7日

砺波市教育センター HPはこちら

〒939-1398 砺波市栄町7番3号

TEL 33-1559 FAX 33-1157

E-mail tonami-ec@tonami-city.ed.jp



「小さなサイン」に気づき、寄り添う心を

令和7年11月に文部科学省から示された「いじめの重大化を防ぐための留意事項集」の中で、子供の何気ない言動に潜む「助けて」のサインに気づき、対応することの重要性を改めて伝えています。

子供は、苦しさを言葉にできないことがあります。私たち教職員は、「いつもと違う」という大切な「SOS」のサインを確実に見付け、温かく受け止める責務があります。これが重大な事態を防ぐ鍵です。

3学期スタートにあたり、すべての子供たちが安心して過ごせる温かい学校・学級の環境づくりに、改めて努めてまいりましょう。



特別支援教育研修会

期日：令和7年11月27日（木）

場所：砺波まなび交流館

○研修内容：講演会、ワークショップ

講師 早期支援コーディネーター 菓子井 佐英子 先生

特別支援担当指導主事 吉田 友子 先生



菓子井先生の講演では、神経発達障害の一つである読み書き障害の実態や、子供の行動の裏の背景を知ることの重要性を教示いただきました。

その後、気持ちの安定や不器用さの軽減につながる体のほぐし方や読み書きに苦手を感じている子供に効果的な教材等を活用する体験を行いました。

（参加者の感想より）

- ・体験を通してひらがなの構成を学んだことで、五感を通して活動する楽しさ、よさを再認識した。
- ・子供の「できない」や困った行動には背景があり、それを考えて支援しなければならないことを改めて感じた。



ミドルリーダー育成研修会

期日：令和7年12月25日（木）

場所：出町小学校

○研修内容：グループ協議、教育長講話



新年度のスタートをスムーズにするための方法について協議をしました。自分の経験を踏まえて学級経営における人間関係づくりやルールづくり等の方策を出し合いました。ミドルリーダーの皆さんが次年度の学校現場に活力を与えて下さることを期待しています。

（研修後の振り返りより）

- ・今までの自分の常識の中にはなかった方法を知ることができた。
- ・若手教員と関わる際には、取組だけでなく、ねらいや効果についても伝え、学校全体でよい新年度をスタートできるようにしたい。
- ・自分が何となくやってきたことが、理論化された気がした。ねらいをもって自分と生徒、生徒同士で共通理解を図ることの大切さを再認識した。

体力向上委員会

今年度の重点

【保認】意欲を高め、楽しく体を動かすことができる場の工夫

【小中】全身持久力の向上

成果

【保認】動きのイメージを明確にする工夫、見通しをもったり成果が見えたりするカードの工夫等により、進んで多様な運動に取り組めた。

【小中】取り組む内容や取組方を自己決定できるようにしたり、運動量確保のための場の工夫をしたりしたことで、子供の意欲を高め、持久力の向上につながった。



授業改善委員会

今年度の取組

- ・chromebookを活用した授業に向けての研修会
- ・各校のICTを活用した授業改善事例紹介
- ・ICTスキル表の見直し

成果

・他の学校の実践を聞くことで、自分もやってみようと感じたし、聞いた情報を、勤務校に持ち帰って共有することで、自校の授業改善にもつながった。

・他校のICTを活用した授業実践を知ること、本校でも取り入れ、授業改善に生かしていきたい内容が明確になった。



となみ夢の平スキー場安全祈願祭 12月20日（土）

安全祈願祭には、夏野市長、白江教育長をはじめ、地域や関係者の方々が多く参加されていました。子供たちが笑顔で、安全に楽しめるようにとお祈りをしました。

